

【テーマ1：産業】

“椿油”から考える地域産業の未来 ～特産品を活用した地域活性化の可能性～



Q 1 桜島ではどんな産業が盛んか、その理由もあわせて調べてみよう。

(記入例)

- 観光業...火山を活かして、観光スポットや体験プログラムが設定されている
- 農業...水はけがよい地質や日当たりのよさを活かし良質な作物（桜島大根、桜島小みかん(コミカン)など）を育成

など

Q 2 椿や椿油について、桜島で栽培が発展してきた理由や、椿油の利用方法などを調べてみよう。

(理由)

- 桜島の噴火活動が活発になり、降灰や火山性ガスによって農作物が被害を受けてきた状況でも、椿は活火山・桜島の過酷な環境に負けない植物だったから。

(利用方法)

- 食用・料理用、髪や肌の保湿用、ハンドクリーム・ネイルオイル等の加工品

など

Q 3 「6次産業化」とは何だろう？
また、なぜ「6次産業化」に取り組むのだろうか？

(「6次産業化」とは)

- 一次産業（生産）×二次産業（加工）×三次産業（販売・サービス）を一体的に行うことで、付加価値を高める取り組み

(「6次産業化」に取り組む理由は？)

- 利益が増える（中間業者にとられない）、地域にお金が残る（地域経済の活性化）、ブランド力が上がる（独自の商品を作れる）等

など

修学旅行中の学び

桜島ビジターセンター

見学や体験などを通して、
生徒が学んだことや感じたことを
自由に記入してもらいます。

桜島の特徴や、
桜島で盛んな
産業について
確認しよう



椿畑見学

椿を実際に見て
感じたこと
・気付いたこと
をまとめよう



椿油搾り体験

搾油工程を
体験して
感じたことを
まとめてみよう



ふりかえり

今日のプログラムを通じて、
わかったことや感想・印象
などをまとめてみよう



事後学習



Q 1 桜島において椿油産業が行われることの利点・課題など、体験したことをふまえてまとめてみよう。

(利点)

- 生産から販売までの一貫性がある、地域にお金を落とすことができる

(課題)

- 産業を担う人材不足、生産コスト など

※ 調べて分からなかったことを中心にまとめる

Q 2 桜島の椿油産業がより発展していくために必要なことをあげてみよう。

Q 1 であげた課題を中心に考える (人材不足を防ぐには? 生産コストを抑えるには? など)

Q 3 あなたが住んでいる地域の特産品をどれか1つ取り上げ、特産品の魅力や課題を確認してみよう。また、その特産品がより発展していくために必要だと思うことを、自分なりにまとめてみよう。

なぜ特産品になっているか、産業を発展させるための工夫、抱えている課題などの視点で考える